

平成20年度
第3期 徳山地区地域審議会
会議録

日 時：平成20年5月14日（水）

場 所：周南市役所 3階 第6会議室

【会 議 次 第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ

4 議事

(1) 新市建設計画の進捗状況調査報告について

(2) 質疑応答・意見交換

(3) 今後の審議会の運営について

5 閉会

平成20年度 第3期徳山地区地域審議会 会議録

日 時 平成20年5月14日(水) 午前10時00分から
場 所 周南市役所 3階 第6会議室
出席者 ・委員 14名 (欠席1名)
藤井 徳男、松村 千昭、重永 つゆ子、石田 睦子、藤井 和美、
山田 好美、木船 淳雄、福原 和子、中村 俊孝、國富 晃、
松原 邦夫、大寺 和美、清木 寛、野村 静男
・事務局 4名
山下総合政策部長、中村企画課長、原田課長補佐、中村
資 料 新市建設計画進捗状況調査報告(平成15～19年度)

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ(総合政策部長)

今後、総合計画の後期基本計画を策定していきますが、その中で新市建設計画の進捗状況の検証をしていただきまして、皆様にもご意見をいただきたいと考えております。

第2期徳山地区地域審議会の中でいただいた提言の中で、この平成20年度当初予算において実現されたものがありますので、ご紹介します。北部地区の常備消防の整備について、須々万の中学校跡地を予定地に、北署北部出張所の整備事業として1,000万円の設計委託料を挙げています。

4 議 事

(1) 新市建設計画進捗状況調査報告について

事務局 資料「新市建設計画進捗状況調査報告(平成15～19年度)」に沿って説明
事務局 12ページの9番目に三田川交差点の改良がありますが、現時点では、(国の予算上)平成20年度から調査設計に1億円ほどついております。平成20年代半ばを目標に約45億円かけて国が立体交差1箇所と交差点改良4箇所をすることに決まりましたので、補足説明をいたします。

(2) 質疑応答・意見交換

議長　ただいまの進捗状況の説明に関して、それぞれ（事前に配付した）自分のアンケートをもとに報告してください。

委員　私は2点ほどアンケートにまとめております。1つは、子育て・教育分野で、小中学校関係の校舎・屋体の改築の未着手が非常に多く見受けられます。今後の対応策については、どのように考えていくのか、特に安全面とか環境面とかで問題ではないかと思えます。課題への対応策としては、まず安全面から支障をきたすことはないのかということがあります。子ども達の安全の確保についてどのような基準、例えば耐用年数とか耐震強度等に基づいて検討されているのかどうか、各地区の改築基準が統一されてその基準に基づいているものなのか各地区独自のものなのか、以上のような点を明確にして、今後市として改築基準など指標を明確にしたうえで管理運営をしたら良いと思えます。

もう1つは、未着手の事業が非常に多く見受けられることです。三位一体の改革の問題もありましたけれども、その中でも地域の格差が顕著に現れています。鹿野地区は52%と非常に未着手が多いです。これを出される時は、「とにかく抜け落ちがないように何でも出しておかない」という形で出されたのではないかと私も推測するのですが、前期の進捗状況を真摯に受け止めて、勇気を持って本当に必要な事業かどうかを厳選して、削除できる事業については中断若しくは廃止していくという姿勢が必要ではないかと思えます。

委員　個別的な課題で挙げました。駅周辺と徳山港湾とを一体で開発というのは時期的に無理だと思いますので、別々に案をつくる方が良いのではないかと思います。港の方は、観光も産業も欲しいというような無理はせずに、観光は下関のフィッシャーマンズウォーフのようなことは無理なので、産業の方を中心に、コンビナート関係で港の整備をすることで、観光的なものは取り入れないというようにやってもらいたいです。コンテナ基地とかそういうものを主にしたら良いと思えます。

それから、駅周辺ですけれども、タクシーの利用客よりも乗用車の利用客の方が多い訳ですから、港側ではタクシーは産業道路に並んで1台ずつ新幹線口に来てもらい、今のタクシーの待機場所は自家用に譲るようにすべきです。在来線側は、40億円かけてバス乗り場とタクシー乗り場を入れ換えるようなお金のかかることは止めて、こちらもタクシーは有楽町の方に移動してもらう方が良いと思えます。駅前駐車場は20分無料といっても誰も入らないです。前のぐるりんバスは車線が多すぎます。あまりお金をかけないように、バスは今のままで良いと思えます。タクシーを少し移動してもらいたいということです。

委員　鹿野中学校の問題がありましたが、学校施設というのは教育現場のものだけではなく、市民の安心安全の拠点であるということが、今からとても大事になってくると思えます。しっかりとした対策をして改築をやっていただきたいと思いました。

それから、役所が「予算がない」というのがよくわかりました。これを見たら、予算

が計画の半分くらいしかありません。市全体として見た時に、それが本当に必要かどうか、果たして市の活性化やまちづくりの見地から見てどうなのかということを考え直していく必要があると思いました。

私は三田川交差点の傍に住んでいますが、あそこが立体交差点になるということを知って驚きました。工事中はどうなってしまうのだろうかという不安を抱きました。日刊新周南で国道2号の通行時間が9分短縮というが載っていますけれども、道路財源が余っているのかなということを感じました。

それから、今動物園にたくさんの方が来て、1つの観光の目玉になっていますけれども、その辺のことがこの中に全然ありませんし、地産地消のふるさと産品の店「こあ」をもっと情報発信の基地にする取組みがあってもいいのではないかなと思いました。

委員 1点目は、三田川交差点の立体交差の問題です。私もあの近くに住んでおまして、確かに非常に渋滞が多くて横断歩道を渡るのも苦労するというような状況が続いております。この立体交差というのは必要なことだと思いますが、どういう形で着工していつ頃出来上がるのか、財源があるのかということについて、周辺の住民としては関心があります。

2点目は、新庁舎の建設計画がこの中に挙げておりませんが、本庁舎ができてから相当の年数が経過していて、手一杯のところがあるのではないかなと思います。市の話では、平成20年度から市有施設の耐震診断を計画的に実施していくということがありました。それと同時に時間が相当経過しておりますので、新庁舎の建設計画について具体的なものがあるのかということもお尋ねしたいと思います。市庁舎ということになりますと、市民の共有財産という観点から、住民の同意が必要ということもあると思いますので、結論を出していただきたいと思います。

委員 この計画の歳入と比べて実際減っていることから考えますと、計画された時と現実がかなり食い違っていると思います。前期5年後期5年という目途があったのは仕方ないと思うのですが、現実には即したものでなければいけないと思いますし、お金が足りないというのは大きな問題でもありますので、迅速に計画を見直していった方がいいのではないかなと思いました。

それと、やっぱり市民の安心安全を守る事業は最優先にすべきではないかと私も思います。例えば、子育ての重要なポイントである学校の施設のこととか、給食センターのこととか、北部地区の消防のことがあります。北部地区の火事で手間取って焼けてしまったという話を聞いておりますので、まず安心安全が確保されなければ何を言っても仕様がなくなるかなと思います。北部地区の消防については、もう動き出したということで良かったという思いがしています。

それから、個人的な話になりますが、中断している事業の中に、市赤迫線というのがあります。私はそこに住んでいますが、まず私たちが求めたのが、子ども達が地区学校に安全に通える道が欲しいということです。そのために親たちが一生懸命動いたのです

が、いざ工事がはじってみるとすごい大きな道ができていて、それが今中途半端に終わっているのです。本当に、住んでいる者としては、ただ安全な道が欲しかっただけなのです。それが蓋を開けてみると全然違うものができていて、それも中断でその間ちょこちょこ改良があって、完全とは言えませんが中学校に通う道は以前に比べるとかなり安全が確保されました。だから、先程言われたように、計画当初「これとこれも入れておかないと、やってもらえないよ」という思いがみんなの中にあっただと思いたいますが、本当に必要なものかどうかということをもみんなで考え直してみる必要があると思いたいます。市赤迫線は、ちょうど娘が中学校に通っていた頃で、私もPTAとかをやっていた時期なので、市職員を呼んでかなりお話をさせていただきました。その中で父兄の方が、「犠牲者が出ないと市は動かないのですか。子どもがケガをするとか事故に遭うとか、事実がなければ子ども達の通学路が確保されないのですか。」ということをお話の中で言われていた記憶があります。それが、ああいう形で変わってしまった、どこでどうなってしまったのかと思いたいます。住んでいる私たちにわからない所で、計画が動いていることが根本的におかしいと思いたいました。

委員 私は皆さんと少し違ひ、事業計画のところ、中断というのがあって、これは税金を投入していると思いたいます。事情はわかりませんが、例えば着工時に見通しができていなかったとか、途中で買収の問題で中断しているとかだと思いたいますけれども、いずれにせよ中断というのは途中まで税金を投入していると思いたいます。これを何とか継続するなど事業を実施する方向にもっていけないものでしょうか。

委員 私は、2点だけ申し上げます。1点目は、今、おっしゃられたことと反対のことですけれども、旧2市2町からの継続案件というのが44%あります。それは多分以前からやっているからということで継続になっていると思うのですけれども、逆にそれはむしろ見直しが必要なのではないかと思いたいます。随分状況が変わってきていますし、中断しないまでも、以前からやっているから続けているということであれば見直しをしてもいいのではないかという気がします。

先程の市赤迫線、私もあの近くに住んでいるのですけれども、学童の通学の安全ということからは必要だと思いたいますが、今計画されているあの大きな道はとても必要ないので、そういう意味で中断は当然だろうと思いたいます。そういう意味で、中断するのか計画を変更するのかという判断を含めて、継続案件につきましては見直しが必要ではないかと思いたいました。

それから、もう1つは、事業計画と財政計画があまりにも乖離していることです。当然それは自覚されての計画だと思いたいますが、後期の計画をたてるにあたっては、非常に厳しい財政状況ですし、ますます厳しくなる方向でしょうから、整合性をできるだけはかるという形での抜本的な見直しが必要ではないかと思いたいます。そのためには、継続実施や未着手になっているような案件をもう少し重点化して、定量化・数値化した判断基準を用いることを含めて絞込みをして、財政計画と事業計画がバランスするようにしな

いといけないと思います。書いてあっても結局やらないということになったのでは、市民に対する説得力もなくなるのではないかということです。

委員 私は、事業計画の中で、未着手・中断・検討という事業があまりにも多過ぎると思います。これを思い切り精査して、するかしないかの検討が必要だと思います。そして、継続・着手の事業を優先的に完了できるようにはかられるべきだと思います。

もう1つは、合併して5年も経っているのですから、周南市のまちづくりのテーマをはっきりと表すことが必要ではないかと思います。各地区の事業が計画に挙がっていたのではいけないのではないのでしょうか。もう少し周南市はこうあるべきだというまちづくりのテーマ・根幹が基本にあるべきだと思います。市民憲章を高らかに言いながら、市民憲章に具体的に关わる事業というものが無いということが問題です。世界に誇れるといっても何をもって世界に誇れるのでしょうか。どうも私たちは外国に通用することを考えがちなけれども、周南市で生きている訳ですから周南市が最高なまちづくりとなるような視点にもう一度立ち返ってもらいたいと思います。

委員 私も同じようなことなのですが、あまりにも事業数が多過ぎます。未着手と検討中が、検討中というのはだいたい「しない」ということであると言われておりますけれども、それが余りにも多い。だから、余りにも乖離し過ぎていて、計画が計画になっていないのではないかという気がします。そこで、しっかりと取捨選択をして、「やるものはビシッとやる。やらないものは何と言われても止める。」という意気込みでやっていかないと、それこそ計画と実施が全くかけ離れてしまうと思います。

委員 私は、建設計画の事業数が多いのにびっくりしたのですが、やれるものとやれないものとを分けた方がいいと思います。私は北部から参加していますがけれども、徳山地域は市街地と中山間地域をもった独特の地域で、中山間地域はいろいろ問題を抱えています。例えば、中須の棚田清流の会とか、須々万のふれあいの森の活動とか、コミュニティ関係とか、地域はそれぞれ頑張って活発に活動していますけれども、中山間地域と徳山の市街地とでは格差があるような気がしてなりません。例えば、バスが減便になるとか、少子化・過疎化で小学校が成り立たないという状況にあるので、中山間地域に目を向けた事業を行っていただきたいです。具体的に言うと、国道315号の栄谷トンネルの整備が挙がっていますが、これを本気で取り組んでいただきたいと思います。幹線道路網の整備ということになるのでしょうかけれども、国道315号というのは徳山の市街地と中山間地域を結ぶ重要な路線ですから、あそこにトンネルを抜いて交流が盛んになるようにして、国や県に働きかけたらいいと思います。

委員 合併をする時に1番思ったのは、メインである徳山駅周辺の整備ということです。まず河村市長の時に計画が出て、それが島津市長で撤回されて、今は駅周辺のランドデザインが出たところだと思いますけれども、既に合併して5年が経過しています。合併特例債の期限まであと5年位しかない訳ですから、計画とかではなく1日も早く具体的に目に見えるものをやっていただきたいと思います。その中で、エレベーターが

き、エスカレーターがつき、私は非常にありがたいと思いますけれども、本当にあまり時間がないと思いますので、きちんと形のあるものを進めていただきたいと思います。

それから、道路のことについて、国道から県道、市道に至るまでたくさんの要望がでておりますけれども、徳山から拳がっている要望がすごく少ないと感じました。三田川の交差点は予算がつくと聞きましたが、旧国道2号と国道2号の間は、会社に行く時に、朝も夕方ものすごいラッシュでかなり信号待ちをします。あそこがスムーズに行くような手を打っていただきたいと思います。また国体がありますが、そういうイベントがある時は大変な渋滞になります。動物園も、5月5日に1万人を超えて岐山小学校が臨時の駐車場になったという話も聞きますけれども、更にたくさんの方が集まっても集まらないような状況になっておりますので、せっかく有名になっているいろいろな所で注目を浴びているのですから、きちんと予算をつけていただきたいと思います。

委員 私は、徳山駅の整備事業で、港側はコンビナートを生かして、その反対側は、送迎にしても車の置き場所がないので、その辺をちゃんとしてもらいたいと思います。

それから、道路についてですが、居守の栗屋のところが土砂崩れがあった時に行き止まりになります。そこで、迂回路として、大浦の道をしっかり整備して欲しいと思います。ちょうど崩れた時に火災があって消防が大変でしたから、緊急の場合にそこを通り抜けて出られるようにしていただきたいと思います。

それと、競艇開催の時はその周辺が大変な渋滞になります。3時を過ぎたら出られないくらいですから、急患などがあって病院に行こうにも行けません。出られるような道になるような対策を考えて欲しいと思います。

委員 未着手が多くて、検討・未着手・中断というのはこのまま進まないだろうと思います。2市2町が合併する時に、「みんな出すものは出しておけ」というような形で出ているのだらうと思います。歳入が厳しくなっていますので、本当にいるものいらぬものを見直していただきたいと思います。私は実際に街中に住んでいるので、例えば夜市の道路に行ってみたこともなく日頃使ってもいません。競艇をやっている時に栗屋の辺りが混んでいることはわかりますが、なかなか1件1件わかりません。見直していくことで、地域に住んでいる方の本当に必要なものが出てくると思います。実際に市街地に住んでいますと抜け道はいっぱいありますし、市道で道が悪いところはいっぱいあります。

ここにハード面が出ているのですけれども、私が関わっている子育て・教育の面について、今は少子高齢化ということで、子どもを産んで育てたいという環境づくりといったソフト面を見て計画し、重点を置いてほしいです。もちろん学校等もいるとは思いますが、この周南で子どもを産んで育てようという環境を是非整えられるような方向に持って行っていただきたいと思います。

委員 私は北山に住んでおりますが、勤務時間が終わって帰る時間帯に、住吉中学校の傍の国道2号から須々万に抜ける細い道路を、ものすごいスピードで車が通っており

ます。そこは、小学校・中学校の通学の道ですので、あれを車が毎日毎日通っているというのがとても危険だと思っています。

それから、「鼓海園が建替えしてきれいになります」ということをずっと以前に聞いておりましたけれども、それが今のところ検討中ということになっておりますが、これがどうしてこれ以上進行しないのかということをおもいました。

議長 質問事項として、中断事業の件と鼓海園の件について、事務局からお話いただけたらと思います。

事務局 まず中断事業の件でありますけれども、例えば先程の市赤迫線のように道の途中で止まっているものもありますし、高尾の住宅の建替えのように棟で分けてやりますので、ある所は終わっていてまだ周南団地の瀬戸見町のところを整備しておりますので中断しているということもあります。いろいろなケースがあると思います。道路の中断の場合は、例えば川崎平野線の街路事業では、富田川を渡る少し手前のところで止まっています。ですから、デオデオの手前の道を入りましたら2車線の道が行き止まりになっている。市赤迫線も都市計画道路ですから都市計画決定をしておりますが、その関係で止まっていることもあります。学校給食センターも中断となっておりますけれども、これは大規模センターをつくる計画が小規模センターに変更ということで中断になっているケースです。単に中断となっても、それぞれの事業によって事情があり、確かに計画をした時の状況とその後の状況が大きく食い違っているということもありますので、そういう対応になっています。

それから、中央病院の裏の鼓海園の建替え・移転につきましては、以前は市営住宅に併設するような計画がありましたけれども、これは市の施設として介護保険制度の中で運営しており、社会福祉法人の周南市社会福祉事業団がやっております。従来、施設というものはなかなか社会福祉法人や民間ができなかったもので、徳山市は古くからこういう制度をつくり、その時は社会福祉事業団という社会福祉法人をつくって、市がつくった施設を委託していたという経緯があります。その後の施設、新南陽で言えばケアハウスをつくっておりますけれども、これは民間の社会福祉法人に補助をしてつくっています。また、徳山でも友愛園とかやすらぎ園とかは民間がつくられて建設費に補助を出すというやり方がとられています。今度この特別養護老人ホームにつきましては、どういうスタイルでつくるのかということを検討する必要があると思います。私は直接担当しておりませんので詳しいことは分かりませんが、そういうこともあって検討中だと思います。

議長 未着手の比率が余りに多過ぎるということですが、その精査ということについてどのようにお考えでしょうか。

事務局 2ページのところに事業計画を解説しておりますけれども、先程説明がありましたように、各市町の総合計画に掲げられた事業を中心にここに盛り込まれているというのが現状であると認識しています。そういう中で、未着手も結構な数が挙がってい

るということです。

もう1つは、計画をしてもなかなかすぐに実施できないということもあります。事前にいろいろしなくてはいけないことがあります。

また、これはあくまで新市建設計画に盛り込まれていたものをまとめさせていただいておりますので、ここに盛り込まれていない事業もあるということだけは頭に入れておいていただきたいと思います。ですから、例えば先程言われました市道西浦線。杓島から出光製油所がある大浦の向こう側に市道西浦線というのがあります。その道につきましては、今年度の予算の中で、鼓南支所から出光の製油所の所までを改良しようということで、測量と土地購入に対して2,200万円の事業費がついております。それから、出光とも、災害時の際は出光の構内を通行できるという災害協定を昨年結びました。あとは、太華山は土地が崩れたりするところでありますので、全線をきちっとはできませんけれども待避所をつくることも将来的には計画しています。この計画には載っておりませんでしたけれども、崩落事故のことも踏まえて、今年度の予算にはその頭出しの部分が載っています。

事務局 あそこはコンビナートで唯一の製油所があります。通りましたら、監視カメラが付いております。そこに行くと本当は夜景も綺麗ですし、すごく良い所なのですが、道が狭いです。そういうことで、この計画の中にはありませんけれども20年度の予算の中には入れております。

議長 それから、駅周辺の整備の件についてもお願いします。

事務局 このことについては、市の方の組織も必要に応じて対応しております。最初合併した時には、当時の企画財政部の中に中心市街地活性化室というのをつくって、そこで徳山駅周辺整備構想というのを策定いたしました。それがベースになって、その後、都市開発部の中に中心市街地整備課をつくったわけであります。それを更に、この4月からは中心市街地整備室という部相当の室をつくりました。これは中心市街地の活性化の問題とそのハード整備の問題を合わせてやっていくということで、取り組んでいるところです。JRとか県が相手でありますので、市としては部相当の室と専任の室長も置き、室長といっても部長級で元は都市開発部の部長をしていた者がしておりますけれども、組織的には取り組んでいます。なかなか槌音が聞こえないというご批判をいただいておりますけれども、そういう中で進めているというのが現状でありますので、お許しいただければと思います。

委員 分科会の1つが、徳山駅前の活性化ということについて提言させていただこうとしております。是非それも反映された形で取り組んでいただきたいと思います。

委員 今回の進捗状況報告では見えやすいハードについて説明がありましたけれども、ソフト事業がどうなっているのかということをも是非クリアにさせていただきたいです。そして、ハード整備はどちらかというとほどほどにして、ソフト的な施策に今後重点を置いていくべきではないかということをお願いしたい。もちろんハードについても、安全

とか防災とか市民にとって本当に必要なものについては最優先でやらなければいけないと思うのですが、地域の活性化とかまち興しというのは、ただ建物をつくったら活性化するとかまち興しになるという発想ではなくて、むしろソフト的な面からどうすべきかどうすれば活性化できるのかということを考えて、それに必要なハードを整備するという発想で是非やるべきではないかと思います。ですから、今の徳山駅前とか徳山商店街の活性化というのも、とにかく大きな建物をつくって人を連れてくるのではなくて、徳山商店街をどういう風に他の商店街と差別化するのかとか、何をもって活性化するかという施策やソフトをクリアにして、それに適したハードの整備ということが必要ではないのかという気がしております。是非ソフト事業について今後できるだけ重点を置いて取り組んでいただくと、できれば審議会の中にもソフトの面での事業がどうなっているのかということをお機会があったら報告していただければ、良い議論ができるのではないかと考えています。

事務局　また後期基本計画に対してもそういうご意見をいただいて、盛り込んでいければと思っております。特に今「新たな公共」「新たな公」というか、公共というものは行政が支えるのではなくて民が支えていくというような時代だと言われておりますので、地域のつながり・人とのつながりという中で、ハードをつくるのではなくて、本当にどうやって活動していくのか、どうやっていくのかということが必要であります。そういう中で、例えば施設をつくる時も、ただデザインがどうだということではなくて、後の運用をどうするかとか使い勝手がいいものをつくるかということもあって、市民参画ということができておりますし、「新たな公共」というのもそういうことであろうと思いますので、またご提言をいただいて、後期の基本計画づくりにお力を貸していただけたらと思います。

委員　どうしても地区の地域審議会なもので、徳山地区とか新南陽地区とか鹿野地区とか熊毛地区ということになっているわけですがけれども、もうそろそろ5年経っておりますので、後期は周南市という全体像の中のあり方で考えていただく視点をもちたいと思います。そうしないと、いつまでたっても地域の要望の審議会になってしまいます。そういう理念に立って、どういうまちづくりにしていこうかということをお明確化していくのが後期の有り様ではないかと思っております。

委員　皆様の意見も随分未着手事業が多いということでしたが、特に道路関係については、全てを実施するというのは財政面からみて不可能だと思います。行うのであれば、子ども達・お年寄の安心安全をテーマにした見直しをしていただき、便利になるからやるというのは対象外でいいのではないかと私は思います。道路特定財源を一般財源化するということを政府が検討されていますが、財政面で非常に厳しい状況が続くことが予測されますので、その辺は躊躇なく実施されていいのではないかとと思います。

それと新市建設計画ですが、合併前に各市町の事業計画にあったものが盛り込まれたものが多いのではないかとと思います。5年経過したことで市としての方針も明確に出さ

れていますし、この点から未着手事業については、いま一度見直しをして再計画していただくというのはできないのでしょうか。余りにも未着手が多く、財政面でも厳しい中で、到底できないものもあると思うのですが。

委員 未着手や中断を次の基本計画に盛り込むか盛り込まないかということ判断するのに、やっぱり客観的な尺度がないとなかなか難しいのではないのかなと思います。非常に難しいとは思いますが、いくつかの視点を合わせた定量的な尺度で評価をして、それをベースに全体の3分の1くらいを取り上げるということにしないと難しいと思います。その時に、子どもとか老人とか安心安全とか、そういったことにかなりウェイトを置いたような尺度で評価をするということもあると思います。

事務局 新市建設計画に盛り込まれた事業を精査すること、未着手事業について精査することは、必要だろうと思います。それをきちんと表明することになりますと、新市建設計画の見直しになります。地域審議会と議会での承認を経て、県に出していき、きちんと白黒つけるという方法が1つ。もう1つは、新市建設計画の中で、今言われたような観点をもって優先順位をつける。財政条件が好転したり、いろいろな補助金がとれたら、この1番下もできるかもしれませんという含みを持たせて、きちんと後期基本計画をつくる。ある程度柔軟性を持ってつくる。こうした2通りがありますけれども、現時点では、後者の方が良いのかなという感じがしております。

先程の中山間地域対策は、全国の自治体が抱える新たな行政テーマですので、これについては、周南市も後期基本計画等の中で本格的な施策をやっていきます。それも先程言われましたように、ハード事業というよりもソフト事業を中心に組み立てていくと思います。当然、必要なハード事業についてはやると思います。

あと、先程から何回か出ていますけれども、動物園。動物園につきましても、今年度、実は動物園リニューアルのF S調査という実現可能性調査を400万円予算化しております。このポイントというのは、徳山動物園は最近職員が頑張って、30万人を超えました。5～6年前までは、北海道の旭山もそんな感じでした。それが今は300万人を越える。地勢的なことや観光地であることなど状況は違いますけれども、徳山動物園をいかに工夫して人が呼べる動物園にするかということが、今の中心市街地の活性化です。きちんとした動線をつくる。動線をつくるのがいいのか、徳山駅を中継したり、バスを中継したりして、徳山駅からの動線はいいから動物園の近くにいっぱい駐車場をつくった方がいいのか、いろいろなケーススタディがあります。その中で、動物園の駐車場はこれくらいだけど、徳山駅から誘導した方が新幹線の便も増えるし公共交通機関も充実する。そうしたら、動線ができることによって、いろいろなホテルと連携したり、中心市街地の商店が工夫したり、活性化する。いろいろなやり方があるのです。そういったソフトがあってどのように整備するかという観点を持っております。その中で今年度調査をしますので、面白いことが出てくると思います。戦略的に動物園を整備していく。これはあくまでF S調査ですので、するかしないかは決まったことではありません

が、そういうことも個人的には計画に盛り込めたら良いと思っています。

委員 今のことに関連してですけれども、徳山駅から動物園までの動線を想定してやっていくということは是非お願いしたいと思いますが、その動線の途中に児玉神社とか児玉公園があります。周南市が誇るべき人材の児玉源太郎を、軍人とかそういうことではなくて素晴らしい人物だということで、市としてそこをもう少し視野に入れた動物園を含めた全体の動線づくりというようにしてもらったらいいいのではないかという気がします。

事務局 その段階になった時に、どういう風にやっていくかということになった時に、市民のみなさんの力があったり、社会実験があたりするわけです。そうしたら、動線以外にも周南市の観光地、周南地域の観光地をネットワーク化したらどうかとか、いろいろな効果をどうやって出そうとか、その時に行政だけで考えたら駄目なのです。みんなが考えないといけません。

委員 バイパスに動物園の看板がでたのはみなさんご存知ですか。あれは、私が言いました。園長に直接電話をしましたが、「そうなんですよ。ないんですよ。」という一言でした。「なければすぐに書いたらいい。このゴールデンウィークにどれだけの人が来るのかわからないのだから、予算を持ってきていいものを作ろうと思うよりも、書いて作ればいいんです。」「はい、やります。」と彼は言いました。それで、月曜日に私に電話がありまして、「枠はつくりました。そうしたら、業者に出したら機械が壊れているので、29日は無理ですけど30日には付けます。」と上司ではないのに報告がありました。私はちょうど「こあ」のところにおりました時に「今、付けました。」と連絡があったので、「はい、すぐに見に行きます。」と笑ったのですが。

そして、今度は私がお休みの時に外に出ましたら、岐山小に臨時駐車場と看板が出ているんです。でも、国道には出ていないのです。「上がり口がわからなかったら、余計混雑するじゃない。」と言いました。そうしたら、「はい、わかりました。」と言って、すぐ看板がついていました。

結局、市の職員がこういう感覚で動いていけば、ありがたいなと思います。今や動物園だけです、元気がよくてみんな職員が輝いているのは、ですから、そこを起爆剤にしたらいいいと思います。動物園の人達は、餌やりのカプセルを置いています、私が孫と動物園に行くと、子ども達が餌をやりながら、遠くへ飛んだとか飛ばないとか、ゾウさんのところで言いながらやっています。それを見て私はすごく自然だなと思うのです。私は動物園のことを書いた投稿文をある雑誌に出しました。私は県の委員にもなっていて、県域の方に動物園をコマーシャルすることが私の役目だと思っておりますので、パンフレットを300部もらいました。会議に行くたびに配っています。そういう形で、一人ひとりができることをやっていくということが、手っ取り早い活性化につながるし、気付いたら即言う、即動いてもらう、そういうことが大事だと思っています。動物園には私も思い入れがあるし、やっぱり子ども達の心の故郷みたいなものであろうかなと思

います。娘もかつて動物園の絵を描いて、苦手だったのに賞をもらってそれが自分の1つの自信になったという思いもありますので、社会的教育の見地からしてもそういうものを大事にしていきたいと考えております。本当にありがたいと思いました。

議長 だいたい意見が出たと思いますので、これをまとめて、次の機会に表していきたいと思います。一応、この進捗状況の件については、これで終わりにさせていただきたいと思いますが、いかがでございますか。

全委員 (承認)

(3) 今後の審議会の運営について

議長 続いて、今後の審議会の運営でございますけれども、2つの部会に分かれておりますので、それぞれが分かれて次にどうするかということを検討していただきたいと思っております。

全委員 はい

議長 みなさんのご協力をいただき、その思いは事務局へ届いたと思っております。どうぞ委員の声を元にお考えいただけたらと思っております。

5 閉 会